

自転車通勤への転換促進に向けた意識変革の取組み

愛知県 豊橋市
発表者：浅岡 道太（豊橋市都市計画部都市交通課）

背景と目的

豊橋市自転車活用推進計画（平成26年3月策定）では

豊橋市の都市交通体系において『自転車』を

近距離（概ね5 km以内）の移動における最も重要な交通手段

として位置付けた

主要な実施施策の一つとして

通勤手段を自家用車から自転車へ転換することを促す取組みを進める

プロジェクトの内容と効果

☆「自転車通勤促進セミナー」の開催

【概要】
自転車政策に精通する学識者及びエコ通勤の奨励について先進的な取組みを行っている事業所からの講演により、市内の事業所の方に自転車通勤を推進する上でのポイントを知ってもらいセミナーを開催した。

【実績】
・参加事業所数：15社
・参加自治体：8市町村

【対象】
市内の事業所、自治体



【開催日時】
平成26年9月11日（木）

【セミナー内容】
《講演》古倉宗治氏（株）三井住友トラスト基礎研究所 研究理事）
豊橋市における自転車施策の取組、自転車通勤の健康性、経済性、環境性などのメリットに対する講演

【効果】
自らの意向で参加申込をしてくれた事業所15社（総従業員数では7,000人以上！）に対し、自転車通勤のメリット等を紹介することに加え、市の取組みも周知することができ、自転車通勤への転換促進を図ることができた。
また、アンケートにより事業所が抱える自転車通勤を推進する上での課題や、事業者側が必要とする施策等のニーズについて把握することができた。

【事業所が抱える課題や施策等のニーズ】
（課題）
・通勤途中での交通事故
・駐輪場の確保 など
（行政への施策ニーズ）
・自転車通行空間の整備
・通勤用自転車購入や駐輪場等の施設整備補助 など



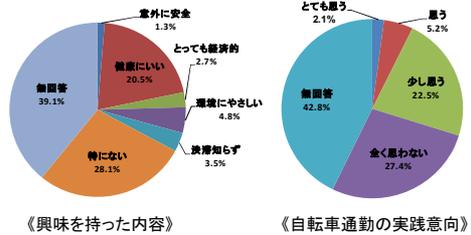
☆「自転車通勤のススメ」の配布

【概要】
通勤時間帯に渋滞が激しい静岡県との県境地域における通勤環境や通勤行動の改善を目的として、立地する事業所に対して自転車通勤を進める冊子を配布した。内容については自転車通勤を行っている方を対象とした事前のアンケート調査を実施し、その結果を基に自転車通勤を行うことによるメリットが感じられるものを中心にまとめている。

【効果】
「自転車通勤のススメ」の配布に対する事後アンケートを実施したところ、自転車通勤のメリットの中で「健康にいい」が最も興味を持たれた。
また、今後の自転車通勤について、約3割の方の実践の意向が確認できた。

【対象】
静岡県との県境地域に立地する事業所従業員

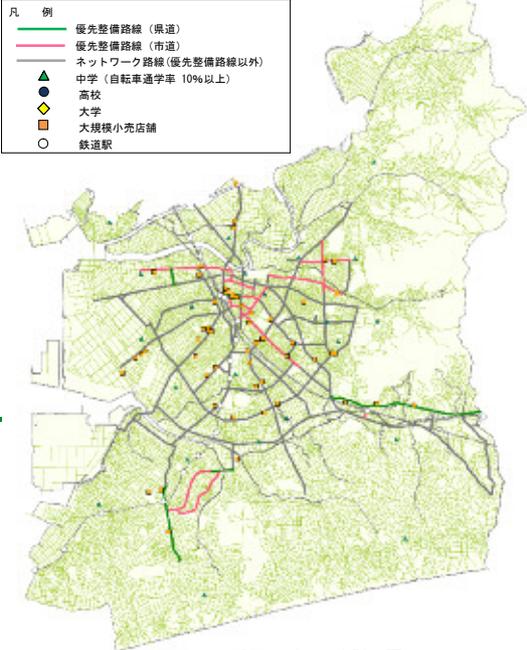
【配布時期】
平成25年9月



《表：自転車通勤のメリットや自転車のルールなど》



《裏：自転車通勤マップ（おすすめルートや注意が必要な箇所）》



《自転車ネットワーク路線図》

結論と今後の課題

通勤時の自転車利用への転換を促進するためには、自転車利用者と事業所の両者とも、安全で快適に走行できる通行空間の整備が必要との認識であった。
 今後は自転車のメリットを十分に活かすため、道路管理者等と連携し、自転車の通行空間の整備やネットワーク化といったハード整備と、自転車利用のPR、利用者のルール遵守やマナー向上のための安全教育・啓発活動といったソフト事業を更に連携させながら施策を実施し、計画の目標を達成したいと考えている。



【自転車ネットワークについて】
 自転車ネットワーク路線延長 149km ⇒ 平成27年度末整備済延長 3.4km
 （内 優先整備路線 32.8km）